

出前講座

分 野：「子ども」

テ ー マ：幼児の運動発達と遊び

職・氏名： 幼児教育学科 准教授 垣添 忠厚

◆概要：

子どもは幼児期に体の動きの基本パターンを身につけます。幼児期の体を使った遊びは、運動発達にとても重要な役割があります。運動発達のメカニズムを知り、子どもたちにどのような遊びを提供するとよいのかを学びます。

◆内 容：

○ 反応あそび

・認知機能と運動には密接な関係があります。見たこと、聞いたことに素早く反応して認知と運動を高める遊びを体験しましょう。

○ 身近のものを使った遊び

・身体の様々な感覚が合わさることで、動きの巧みさが生まれます。新聞紙を材料にして作った球や輪っかを使って、3つのコントロール（加減・方向・タイミング）を高める遊びを体験しましょう。

○ レクリエーション

・友だちとの楽しかった遊び体験は自発的な行動につながります。ゲームなどのレクリエーションを通して、友だちとのかかわりを大切にした遊びを体験しましょう。

◆出講可能な時間帯

4月～7月(前期)・・・火曜日

10月～1月(後期)・・・火曜日

(1) 専門分野… 体育、健康、特別支援教育

(2) 主な担当科目…体育Ⅰ・Ⅱ、幼児と健康、スポーツ演習Ⅰ、Ⅱ、幼児の運動と遊びⅠ・Ⅱ、
スポーツレクリエーションⅠ・Ⅱ、障がい者スポーツ演習 等

(3) 一言メッセージ…

「体を動かすのは楽しい、体を動かすことが好きと思える子どもたちがいっぱいになってほしいといつも願っています。」